

アジア
取材ノート



市場に出回り始めた2020年産の国産マンゴー。全て独自品種のセインタロンで価格は4個3,000チャット（約223円）。新型コロナウイルス感染症が拡大する中、従業員や客はマスク姿が目立つ。20年4月、ミャンマー・ヤンゴン（NNA）

ミャンマー自慢のマンゴー 甘い「ダイヤ」輸出に脚光

ミャンマー人が誇る国産マンゴーの輸出が増加している。糖度が高い固有品種「セインタロン」の知名度が高まり、中国、シンガポールなどを中心に引き合いが強まっていることが背景だ。
ドライマンゴーなど年間を通じて販売できる加工品の商品化も徐々に進み、日本を含む新市場をにらむ動きも出てきている。
（取材・写真＝共同通信ヤンゴン支局 齋藤真美）

ミャンマー産マンゴー（生果実）の輸出は2016年以降、右肩上がりが続いている。民政移管で市場が開放されてから、東南アジア諸国連合（ASEAN）の近隣国産より高い糖度や濃厚な味、香りの良さが評価されるようになった。

ミャンマー・マンゴー市場技術振興協会（MMMTDA）のチョー・ソー・ナイン事務局長によると、ミャンマーは約190種ものマンゴーが生育するというマンゴー王国。その中で圧倒的な知名度を誇る品種が、ミャンマー語で「ダイヤモンドのひと粒」という意味を持つ「セインタロン」だ。北西部のザガイン管区、北東部シャン州などで栽培される。同協会によると、18年のマンゴー輸出力

は3万2,800トンで17年を6%上回った。輸出額は1,159万米ドル（約12億1,900万円）だった。国別統計はないものの、国境を接する中国の雲南省とその近辺に8～9割が出荷され、シンガポールが続くと同協会は推定する。政府は農業分野の貿易収入を増やすため、マンゴーの輸出競争力を高めて中国以外にも販路を拡大したい考えた。

地場企業ミャンマー・ゴールデン・プロデュース（MGP）は、12年にマンゴーの生果実輸出を始めた。シンガポールが最大の仕向け先となる。同社のサイ・アウン・チョー・サイモン事業開発担当取締役は「価格だけの勝負はできない」と、農薬や化学肥料を使わないケミカルフリー栽培のセインタ

ロンを空輸。富裕層を主なターゲットに、1キロ当たり8米ドル以上の高値で売りさばく。18年は700トンを出荷、19年はセインタロン以外の品種も含め1,500トンと実績を伸ばした。

「セインタロンは、ミャンマー人が誇るべき果物」。民政移管前はシンガポールで働いていたサイモン氏は、ミャンマー産マンゴーを取り寄せて仕事相手に味わってもらいながら、マンゴービジネスの可能性に思いを巡らせていたという。



(左) 上海市の空港から隔離ホテルに向かう中国人ら (中央) ホテルに到着した人の隔離手続きをする防護服の人 (右) 隔離3日目に配られた夕食

【上海隔離ホテル】

消毒徹底、おいしい食事

「隔離仲間」との交流も

中国の日系企業で働くため3月に上海入りした私は、地元政府の新型コロナウイルス感染防止対策により定められた14日にわたるホテルでの隔離生活を余儀なくされた。防護服を着た職員が行き来する中、ホテルの部屋から出ることもできない生活は不安で心が押しつぶされそうになった一方、食事は予想よりおいしかった。「隔離仲間」との交流も生まれた。ホテルでの隔離生活について報告する。(NNA=青山なつこ)

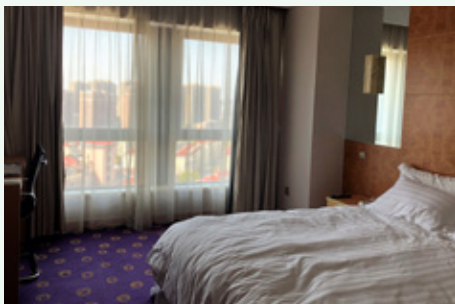
日本人は私だけ

3月中旬、上海市の浦東国際空港に到着した後、地元政府が用意したバスに乗せられた。隔離のため同じホテルに向かったのは計7人だったものの、日本人の私以外は全て中国人だった。「刑務所のようなひどい環境のところに連れて行かれるかもしれない」と心配していた。到着したのは上海市の金融街にある高級ホテルで、正直、ホッとした。

このホテルには既に60人以上が隔離されており、今後300から400人の受け入れを予定していることも分かった。ホテルの職員は「昨日は韓国人と米国人が来たが、中国語が通じずに参ったよ」と話していた。中国に留学経験があったので言葉に不自由しなかった。

隔離された部屋は17階にあり、約20平方メートルの広さ。大きな窓があり、清潔感があった。大型のテレビや冷蔵庫も備え付けられている。学業を終えたばかりの20代の女性としては、ぜいたくな気分になった。日本の番組こそ見られないものの、中国各地のニュースや映画専門など計54チャンネルを見ることができた。

飛行機が上海の空港に到着してから既に6



筆者が隔離されていた上海市内のホテルの部屋



隔離された人に配る弁当を片手に検温の結果を確認して回る保健所の職員

時間以上が経過し、へとへとだった。幅2メートルのダブルベッドはふわふわして寝心地はよく、この夜はぐっすりと眠った。

防護服の男女が行き来、 顔面に消毒液

朝になると、廊下からバタバタと慌ただしい足音が聞こえてきた。防護服に身を包んだ「保健所の職員」と名乗る男女が、各部屋に弁当を配っている。食事は午前7時と正午、午後6時。防護服の職員は、同じフロアにある全ての部屋の前にお弁当を並べ「ご飯だよ」と叫ぶと、そそくさとエレベーターで退散していく。隔離された人たちとの接触を避けるためだ。防護服の職員は、細い管を片手に、透明な消毒液を廊下に散布して回る。

通常は1日3回、朝食と昼食それに夕食を配り終えた1時間後に実施するが、多い時は1日に計5回。廊下だけでなく、各部屋のド

アにもまんべんなく消毒液を吹きかける。廊下から部屋に入ってくる鼻をつくような臭いは、小学校のプールを思い出す。

部屋のゴミは、指定の黒いビニールの袋に入れて午後7時までに部屋の前の廊下に置かなければならない。ある日ゴミ袋を出すのが遅れ、慌ててゴミ袋を出しにドアを開けると、顔面いっぱいに消毒液を浴びてしまった。消毒液が入ったタンクを背負った職員は何事もなかったかのように、そのまま立ち去った。

トイレで大の用を足した後は洗浄剤で便器をきれいにしなければならない。排せつ物から感染する恐れがあるため、毎回、錠剤を10個便器に放り入れ、1時間後に洗い流してトイレの衛生環境を守る。部屋の掃除やベッドメイキングのサービスはなかった。風呂はシャワーで、きちんとお湯が出る。バスタオルの交換はないが、歯ブラシなどは4セット置いてあった。

典型的な中国料理

隔離2日目の朝食は、豆乳と中国風揚げパン、味付け卵と包子(肉まん)だった。典型的な中国式の朝食を前にし「上海に来た」と改めて実感した。豆乳は日本のものと比べ水っぽい、ホットなので体が温まる。

昼食はプラスチック容器いっぱいに詰められた温かい弁当。白米に3品の副菜が付いている。白菜炒めとセロリ炒め、それと大根の酢あえだ。主菜はローストダックで、デザートにヨーグルトも添えられた。食事は量が多いので腹いっぱいになる。夕食は、白米に豚肉ときくらげの炒め物、青菜炒めとラー油で炒めた大根。団子と冬瓜(とうがん)の煮物が主菜だった。団子は牛肉なのか豚肉なのか、はたまた羊肉なのか。食べても何の肉なのか結局分からなかった。生野菜が食べられなかったのは残念だが、結構おいしかったのは事実。日本食が少し恋しいものの「隔離生活も快適に過ごすことができるかもしれない」と思い始めたが、その後の隔離生活でその思いは裏切られた。

全文はWebマガジンで



台湾夜市ゲーム研究者

三文字昌也さん

台湾発ドリンクとしてタピオカミルクティーが日本のみならず世界を席巻してはや数年。次のブームは「台湾夜市ゲーム屋台」かもしれない。日本で唯一の台湾夜市ゲーム屋台研究者、三文字（さんもんじ）昌也さん（27）は日本で夜市を復活させるという野望を抱く。

本業は建築と都市の設計ですが、東京大学大学院の都市デザイン研究室に在籍し、台湾夜市を学術的に研究しています。台湾夜市ゲームに熱中するあまり現地で遊ぶだけでは飽き足らず、攻略本を執筆して自費出版したり、高雄市のゲーム工場へ取材に行きそのまま筐体を購入したりしました。日本や台湾

の各地で開かれる数々のイベントにも出店しゲーム屋台を開いています。夜市ゲームはシンプルすぎて、人によっては「何が面白いの」と思われるかもしれませんが。一見ばかばかしく見えるゲームでも、実際に挑戦すると視点が変わる、なかなか奥が深いエンターテインメントですよ。

大人も熱中する多彩なゲーム

台湾の夜市では食べ物屋台と並んで、レトロゲームの屋台が出ています。夜市ゲームは、ルールが単純なだけにゲームバランスが良く練られていて大人も熱中できるのが魅力です。夜市文化に親しんでいるからか、特別な日にだけお祭りがある日本とは違い、毎日夜市が開催されている台湾では小さな子の横でおじいちゃん達が本気でゲームを楽しんでいたります。

日本の縁日でも良く見られる射撃や輪投げのようなものも多くありますが、台湾夜市らしい代表的なものといえばマージャンパイを使ったピンゴやピンポン玉を投げ入れるゲームでしょうか。釣ったエビをその場で焼いて食べられるエビ釣りゲームもあります。

少し変わったものでは、最近では数字を使った「寫數字（シエシュツ）」という比較的新しいゲームが熱いですね。全600のマスがある1枚の紙に1から600まで一つずつ順番に数字を書き入れるというもので、30分以内に全てのマスを埋めれば成功。書き損じや数字の重複がなければ景品がもらえます。諸説ありますが発祥は2011年の中国とも言われています。

全文はWebマガジンで▶

プロの眼

第4回 スマホのプロ 田村和輝 5Gインフラも強いアジア企業

これまで、アジアにおけるスマートフォン事情を伝えてきましたが、アジア企業の動向をよく知るには世界の他地域での事業活動にも注目する必要があります。そこで今回は、アラブ首長国連邦（UAE）やサウジアラビアといった中東のアラブ諸国で存在感を高めるアジア企業の動向を紹介します。



サウジアラビアを代表するランドマークのキングダムセンターと携帯電話キャリアの販売店＝2019年12月、サウジアラビア・リヤド（筆者撮影）

アジアや欧州など多くの地域には地場企業が展開するブランドのスマホが存在しますが、中東は世界的にみても地場ブランドのスマホが少ない地域と言えます。

UAEには地場ブランドのスマホがあるものの、近年は中国と韓国を主とするアジア企業が優勢な状況で、特に中国の華為技術（ファー

ウェイ）と韓国のサムスン電子が存在感を高めています。アジア企業が世界のスマホ市場を席巻し、牽引する状況は中東も例外ではありません。

中東といえば、オイルマネーのイメージから富裕層を連想するかもしれませんが。確かに米国のアップルが販売する高価な「iPhone（アイフォン）」の人気は高いのですが、アジアやアフリカ諸国からの出稼ぎ労働者も多く、実は低価格帯のスマホの需要も大きい市場です。

技術力のあるファーウェイやサムスン電子は製品の完成度が高く、低価格帯から高価格帯まで多様なラインナップを提供することで幅広い客層から支持を得ています。また、両社はUAEやサウジアラビアの主要な商業施設への出店や、携帯電話キャリアの店舗内に専用ブースを設置するなど実店舗の展開を強化しています。

全文はWebマガジンで▶

NNA各国記者がつづるアジアの“今”
テイクオフ—在宅編—



シンガポールで陽気なインド系のお父さんが話題になっている。現地では新型コロナウイルス対策で、海外からの帰国者には14日間の外出禁止命令が課されるようになった。話題のお父さんは、日本への出張から帰国後、外出禁止になっており、自宅から一歩も出られない状況に置かれていた。

ネット上で出回った動画では、玄関の外で夫人と子どもたちが待機する中、くだんのお父さんが踊りながら登場。一歩外に出ると、夫人から花の首飾りを渡され、ダンスのキレは一層激しくなる。夫人と子どもたちも踊りに加わり、家族全員全力で外出解禁を祝う姿が収められていた。ハリウッドムービーを思わせる動画にネット市民も和んだ様子だ。

現在は全居住者の外出が制限されるサーキットブレイカー措置が導入され、息の詰まる在宅期間が続く。このお父さんを見習って、もっと陽気に日々を過ごすことにしよう。(薩)

全文はWebマガジンで

「東西」の本から「亜細亜」を読み解く
アジアの本棚



『亜細亜熱帯怪談』

高田胤臣 著／
丸山ゴンザレス 監修 晶文社
2019年9月発行 2,500円＋税

全文はWebマガジンで

NNA
NEWS
SELECTION

ヴァージンは破綻
航空業界に試練
新型コロナ、

新型コロナウイルス対策としてアジア各国・地域が導入した入国規制や国際線乗り入れ禁止措置が、航空会社に大きな試練をもたらしている。急速に経営が悪化している航空各社では、給与削減のほかリストラなどにも着手するところも出てきそうだ。NNA POWER ASIAから関連記事をセレクト。

中国
1

2020年4月20日付

経営危機のアシアナ、
無給休暇を無期限延長

元の記事はこちら <https://www.nna.jp/news/show/2034511>

韓国のフルサービスキャリア（FSC）大手、アシアナ航空は19日、新型コロナウイルス感染症の拡大による相次ぐ運休・減便で経営が悪化しているため、4月から実施中の無給休暇期間を5月以降も無期限で延長すると発表した。

同社は今年2月、経営悪化を理由に全社員を対象に月間10日以上は無給休暇の取得制度を開始し、4月には期間を15日以上に拡大していた。

中国
2

20年3月4日付

航空業界、
新型コロナで1Qに400億元損失

マレーシア

3

20年4月15日付

マレーシア航空、
経営陣の給与35%カット

タイ

4

20年4月14日付

タイ航空、
20年の赤字920億円に拡大見通し

インドネシア

5

20年4月17日付

航空各社、
乗客減で貨物便にシフト

ほか

全文はWebマガジンで